

令和2年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

担当課係	図書館
------	-----

事務事業名	図書配本事業		事業予算費目			
総合計画上の位置付け	政策	② ひとりひとりが輝けるまちづくり	款	10	教育費	
	基本目標	6. 心豊かなひとづくり	項	5	社会教育費	
	施策	6-1 教育の充実と文化の振興	目	5	生涯学習センター費	
	基本方針	6-1-3 生涯学習・スポーツの推進	事業	4	図書配本事業	

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	図書館に来られない方にも、読書活動の振興を図るため、読書機会を提供し読書に親んでもらおうとする事業	事業の内容	利用者の要望に応じ、毎月又は2ヶ月ごとに職員が施設や自宅・学校等に図書資料を届け、貸出期限が来れば引き取りに行く
-------	---	-------	--

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名	単位		実績	実績	目標	目標		
	貸出利用団体者数			R1	R2	R3	R4		
	指標の説明	団体	目標	13	13	14	14		
			実績	10	14				
		R1年度決算		R2年度決算		R3年度予算		市民一人あたりのコスト	
関連事業費	財源内訳	事業費		1,401,822	1,541,094	1,745,000	R1	37	
		国県支出金					R2	41	
		地方債					各年度4月1日現在の人口		
		利用者負担・その他					R1	37,795	
		一般財源		1,401,822	1,541,094	1,745,000	R2	37,243	

■評価（CHECK）

事業の方向性		拡 充		縮小して継続	判定理由 子育て層への支援のため、また益々増加する高齢者への支援のため、本事業の必要性は増すと考えられる。
		改善・効率化し継続		休止・廃止	
	○	現状のまま継続		完了	

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	絵本の配本を希望する人が増えている。事業の認知度を高めていくよう広報等を通じて積極的に取り組んでいく必要がある。
今後の方向性	学校や学童保育クラブへの配本を始めている。読書活動推進のため幅広い世代、施設へ配本を広げていく。